

横須賀市自然・人文博物館リニューアル  
改修設計・製作等業務

事業者選定プロポーザル

展示機能水準リスト

令和8年(2026 年)7月

横須賀市教育委員会

◎→優先順位の高い大項目中項目、△→参考となる大項目中項目、○→展示を希望する資料

対応エリア		大項目	中項目	展示物	展示 必須	ねらい(大項目中項目について)	概要(展示物の内容について)	館所蔵	点数	寸法※cm単位		
仕様書項目										Hが垂直方向		
名称									W	H	D	
ア 横須賀ワンダーゲート						・仕様書に記載						
		ナウマンゾウの最初の発見は横須賀から！			◎	・横須賀は太古の生物であるナウマンゾウの化石が、世界で初めて発見された地であることを扱う。 ・1867年、横須賀製鉄所建設中に下あご化石が発見され、ドイツ人地質学者のナウマンが研究し、のちにナウマンゾウと命名されたことを扱う。 ・ナウマンゾウ発見のきっかけになった横須賀製鉄所建設の概要を扱う。 ・太古の世界が実現したことへのわくわく感を抱かせることを期待する。						
					○	・出土場所を扱う。	・レプリカ ・出土場所を扱う。	○	1	55	30	40
					○	・出土場所を扱う。	・実物 ・出土場所を扱う。	○	1	65	25	23
					○	・出土場所を扱う。	・実物 ・出土場所を扱う。	○	1	24	64	44
					○	・出土場所を扱う。	・実物 ・出土場所を扱う。	○	1	30	25	15
		ナウマンゾウとは			◎	・ナウマンゾウとはどんな動物だったかを扱う。 ・ナウマンゾウの全身骨格を活用する。						
					○	・ナウマンゾウの形態と生態を扱う。	・全身骨格 ・ナウマンゾウの形態と生態を扱う	○	1	360	200	120
		ナウマンゾウと共存した動物			◎	・横須賀だけでなく、日本で発見された化石データを基にナウマンゾウと共存した動物を扱う。 ・当時の気候変動や環境を扱う。 ・当時生息した哺乳類など大型の骨格レプリカや剥製を扱う。						
					△	・ナウマンゾウが誕生する前に日本に生息していたゾウのなかまであるステゴドン類を扱う。 ・ナウマンゾウが登場する前の日本列島の自然環境を扱う。 ・ミエゾウ、ハチオウジゾウ、アケボノゾウの順に、ステゴドン類が日本で小型化していったことを扱う。						
イ 横須賀ダイナミックシアター						・仕様書に記載						
		ダイジェスト映像			◎	・常設展示で扱う展示の概要を紹介することで、各エリアへの期待感を醸成する。 ・来館者の興味関心を損なわない上映時間とする。 ・5年程度の長期的な運用を視野に、飽きの来ない映像・演出・本数にする。 ・迫力ある映像体験となることを期待する。 ・映像体験を分散するも可能とする。館全体で効果的な場所での実施を期待する。						
					◎	・横須賀・三浦半島の魅力として以下の内容等を扱う。 森に多くの生物が生息すること 海に多くの生物が生息すること 自然と人の営みが近接すること 横須賀独自の祭りや年中行事などの文化が存在すること 史跡や近代化遺産などの名所が多数存在すること ・来館者の興味を損なわない上映時間とする。 ・5年程度の長期的な運用を視野に、飽きのこない映像・演出・本数とする。 ・迫力ある物語的映像体験となることを期待する。 ・映像体験を分散するも可能とする。館全体で効果的な場所での実施を期待する。						
					△	・展示解説などの際に、学芸員が用意した画像や映像などを映し、参加者の理解を促進できる場となることを期待する。						
ウ 横須賀ワールド(旧オーシャンアトリウム)						・仕様書に記載						
		海			◎	・海中に生息する生きもの、黒潮もたらす豊かな漁場、横須賀特有の漁法、そして船に関わる技術について、横須賀ならではの海の魅力と知恵を扱う ・横須賀の海の特性を踏まえた創造的かつ実現性の高い提案を期待し、親子が興味関心を引かれる体験型の導入や、継続的な学びを促す仕組みを期待する。 ・横須賀の海にまつわる多様な世界観を体感的に表現し、海上から深海まで連続する環境を親子で楽しみながら学べる場となることを期待する。 ・海洋都市横須賀を象徴する展示を期待する。						
					△	・横須賀・三浦半島の海に生息する多様な生物の特徴と関わりを通して海の豊かさを扱う。						
					△	・横須賀に多く伝わる特色ある漁法のしくみと知恵を扱う。						
					△	・横須賀の船を通して、伝統的技術から現代の科学技術を扱う。						
					◎	・横須賀の海底環境を通し、多様な地形や生態の特徴を扱う。 ・JAMSTECと連携し、海に関する展示を行う。 ・実施場所は、他のエリアでも可とする。						
		陸			△	・陸上で見られる生物や化石・岩石・地層を通して横須賀の自然環境の成り立ちを扱う。 ・地域の歴史や文化を扱う。						
					△	・横須賀の陸上環境、多様な地形や生態の特徴から扱う。						
		体験			◎	・海と人、陸と人のつながりを扱う。 ・多様な自然環境を扱う。 ・横須賀に住む人の暮らしと技術、文化を扱う。 ・体験しながら学ぶことを期待する。 ・進化や仕組みを扱う。 ・他のエリアに分散させることも可能である。						
					◎	・吹き抜け空間を活かした親子で楽しめる体験装置を設け、海上から深海まで続く海の世界を安全に体感しながら学べる場となることを期待する。 ・人員配置に依存せず、遊びの中で学びや気づきが得られる仕組みとする ・横須賀の海と陸の特徴を捉え、創造的かつ実現性の高い提案を期待し、親子が興味関心を引かれる特徴ある手法となることを期待する。						
					△	・横須賀の海の生物・漁法・船の原理を通して、自然と人の関わり扱う。						
			△	・横須賀の陸上で見られる生物や地形、歴史や文化など人の営みを扱う。								
エ 三浦半島の自然と暮らし						・仕様書に記載						
		三浦半島の自然			◎	・三浦半島には多様な地形環境があり、それに起因して多様な生物が生息することを扱う。 ・三浦半島とその周辺地域や海域との相対的な位置関係を扱う。 ・三浦半島内のどこにどのような自然環境が位置するか扱う。 ・生物の視点から見た三浦半島の自然環境だけでなく、人との関わりから見た自然環境も扱う。 ・身近な自然環境への興味関心関心と、横須賀の散策をより楽しめる視点を育むことを期待する。						
					◎	・三浦半島の生物多様性を扱う。 ・既存の実物資料(剥製、レプリカ、液浸標本など)を活用する。						
					◎	・三浦半島や周辺海の地形などを俯瞰でき、そもそも三浦半島とはどういうところかを扱う。						
					△	・三浦半島とその周辺地域・海域には深海が広がっていることを扱う。 ・深海の風景や生物が動いているさまを映像で見せる ・相模湾や東京湾の深海域に生息する生物について液浸標本や剥製・レプリカで伝える。						
					△	・三浦半島周辺の浅海域に見られる生物の種多様性について扱う ・おおよそ潮下帯から水深200 mまでが浅海域だが、ダイビングで潜るような明るい海中をイメージ。深海とはまた異なる海の中を見せる。						
		環境別展示(陸と海の境界)			△	・三浦半島の海岸線には岩礁、砂浜、干潟、人工護岸など様々な環境があることを伝える ・それぞれの環境にはその環境に適した多様な生物が生息していることを学べる						
					△	・三浦半島の陸地の自然環境の多様性、そこに生息する生物の多様性について扱う。						
					○	・ギンヤンマの生態について扱う。	・拡大大型模型	○	1	220	150	110
		環境別展示(里地・里山)			△	・自然環境や生物と人とのかかわりについて、三浦半島の里地・里山を通して扱う。						
					◎	・自然と人々の暮らしが深く関わっていた時代から、現代的な暮らしへの遷移を扱う。 ・季節のめぐりに対応してきた人々の行事や、身近な植物から作られた道具の使い方を通じて、自然と密接に関わっていた人々の暮らしを扱う。 ・現代的な暮らしへの遷移とは、道具の役割はそのままだに、素材が工業製品へと置き換わった点に顕著に現れていること扱う。 ・技術の向上により自然の脅威や制約は遠のいたが、同時に自然との精神的な結びつきが希薄化したことを扱う。 ・変わらぬ人の営みと、変わりゆく人と自然の距離感を通じて、自分の暮らしの中で自然がどの様に関わっているか、自然が将来どのような姿で存在してほしいかを考える場となることを期待する。						
	△			・「年中行事・祭礼」と「漁業歴・農業歴」が、季節や生物の生態に連動して形作られていたことを扱う。								
			△	・横須賀の中でも都市化が遅かった地域における、第一次産業中心の職住近接な暮らしを扱う。								

		古民家	○	・既存の古民家を生かした展示を期待する。 ・自然と人が密接につながっていた当時の暮らしを扱う。 ・歳時記に記載された年中行事等を実施していた時代の建物として展示する。	・江戸時代の終わりに現在の佐島に建てられ、昭和30年代まで使われていた漁師の家を移築したもの。	○	1								
		高度経済成長以降の暮らし	△	・横須賀の中でも都市化が遅かった地域における、第一次産業中心の職住近接な暮らしが、高度経済成長でどの様に変化したかを扱う。											
オ	横須賀のあけぼの～大地の誕生から黒船来航前夜まで～				・仕様書に記載										
	概要展示			△	・エリア5の展示の概要を扱う。 ・エリア5の見学前に概略を把握できるほか、見学中にこの場所に戻って内容を再確認できるような展示とする。 ・来館者の目を引く展示とする。 ・館全体で効果的な場所での実施を期待する。他の場所での実施も可とする。										
					◎	・三浦半島の大地の成り立ちについて、以下の5つの点を扱う。 1)火山の影響を受けてつくられたこと。 2)おもに深海でつくられたこと。 3)新生代の地層と岩石から構成されること。 4)プレートのはたらきに影響を受けてつくられたこと 5)活断層があること ・地層や化石の観察を扱う。 ・地域の地形的・地質的特徴について扱い、地域の特徴と現在の生活の関係、減災について考えを深められるようにする。 ・地形的・地質的特徴は、①自然災害のリスク、②土地利用(市街地、道路、宅地、畑)に関係する。 ・特に伝えたいのは①自然災害リスク。活断層の存在、沖積地での津波高潮、液状化、洪水、急傾斜地での斜面崩壊。 ・実際に野外で地層を調査しているかのような、没入感と臨場感を感じられることを期待する。 ・資料の観察を通して、来館者が疑問を持ち、考え、解答に辿り着くことで、探求心を育ませることを期待する。									
		三浦半島最古の地層と岩石			△	・最古の地層である葉山層群と、それより古い岩石である蛇紋岩や三浦枕状溶岩を扱う。									
		プレートの挟間で誕生した大地			△	・火山の噴出物から構成され、海底地すべりや断層など大きく変形した地層があること伝え、2つのプレートの境界付近で、プレートの働きにともなうてつくられた付加体であることを扱う。									
		シロウリガイの生息した深海			△	・シロウリガイ化石は三浦半島特産の化石であること扱う。 ・特産とは他の地域ではあまり見つからないが、三浦半島ではたくさん見つかる三浦半島の代表的な化石であることを指す。 ・かつて三浦半島がメタンが湧き出す深海底でつくられたことを扱う。									
		海から陸へ			△	・約50万年前に、三浦半島周辺は浅い海となり、一部は陸地になったことを扱う。									
		三浦半島の活断層			△	・三浦半島には5本の活断層があり、横須賀市に存在する北断層群は近い将来の活動が予想されていることを扱う。 ・減災について扱う。									
		大地のインタラクティブ展示			△	・地層観察の基礎を扱う。 ・研究の流れ(観察・実験し、考察し、結論を導く)を扱う。									
	海とともに生きた人びと				◎	・旧石器時代(約3万年前)～江戸時代(18世紀頃)を扱う。 ・以下の内容を扱う。 狩猟・採集(旧石器時代の陥し穴、縄文時代早期の貝塚) 農耕・豪族(海蝕洞穴、横穴墓) 三浦郡と三浦一族(古代寺院、瓦、三浦一族) 幕府と三浦半島(三浦按針、浦賀奉行所) ・実物資料を活用し、当時の環境や人びとの暮らし・社会を想像できる構成とする。 ・考古学・歴史学における資料の読み解き方や、気づき・解釈を積み重ねていく思考プロセスを体験として提供する。 資料の入替や追加を行いやすい構成とすることで、研究の進展や新たな視点を反映し、来館者の理解が継続的に更新される展示とする。									
		狩猟・採集の時代(旧石器時代・縄文時代)			◎	・旧石器時代から縄文時代にかけて、三浦半島の人々が狩猟・採集・漁撈を組み合わせ、自然に適応して暮らしていたことを扱う。 ・三浦半島には約3万年前から人が生活していたことや、環境に応じた狩猟戦略があったことを、陥し穴状土坑の剥き取り標本や石器資料から扱う。 ・縄文人が陸と海の資源を活用し、多様な生活戦略を編み出していたことに加え、夏島貝塚など学史的に重要な資料の調査・研究の蓄積が、この地域の歴史解明に大きく寄与してきたことを、調査記録や研究成果の提示を通じて扱う。									
			打木原遺跡の陥し穴状土坑の剥き取り標本		○	・約3万年前から陥し穴を利用した狩猟活動を行っていたことを扱う。 ・道具が限られるなかで、深い穴を掘っていたことを実感させることを期待する。 ・狩猟戦略を扱う。	・標本 ・陥し穴状土坑の断面および土壌の堆積状況を示す。	○	1	260	280	10			
			伝福寺遺跡出土丸木舟		○	・縄文時代の丸木舟を利用した漁撈を扱う。 ・当時の海域環境や植生についても扱う。	・実物資料 ・縄文時代に使われていたことを示す。	○	1	335	60	77			
		農耕のはじまりと豪族の時代(弥生時代・古墳時代)			◎	・三浦半島で稲作が定着し、集落が拡大していく過程や、古墳・横穴墓の築造を通して、弥生時代から古墳時代にかけての社会構造や地域ごとの権力の在り方が変化していったことを扱う。 ・弥生時代の人々が、集落だけでなく沿岸部の洞穴も組み合わせて活動していたことを、出土資料を通して扱う。 ・三浦半島における古墳・横穴墓の築造や副葬品を通して、古墳時代の社会構造や墓制の特徴、広域交流の様子を扱う。									
			弾琴男子椅座像埴輪		○	古墳時代の社会構造や墓制の特徴、広域交流の様子を扱う。 三浦半島で出土している埴輪を扱う。	・夢原古墳出土の人物埴輪。琴を弾く埴輪。	○	1	28	71	28			
		三浦郡と三浦一族(古代・中世)			◎	・三浦半島が律令国家下において交通の拠点として発展し、中世には三浦一族が地域の政治・軍事・経済の中心として活躍したことを扱う。 ・初期寺院の建立や瓦生産が相模国東部における地域拠点としての役割を支えていたことを、寺院跡出土瓦や関連資料を通して扱う。 ・三浦半島を拠点とした三浦一族が、源平合戦や鎌倉幕府創設に果たした役割や、幕府内での権力と影響力を扱う。 ・三浦一族の地域史と全国史のつながりを示す。									
		三浦按針と浦賀奉行所(近世)			◎	・17世紀～18世紀頃の横須賀・三浦半島について、三浦按針および浦賀奉行所の歴史を軸に扱う。 ・安土桃山時代～近世初期の国際情勢と、その中における日本の国際的な位置など鎖国以前の日本の動向について扱う。 ・三浦按針の歴史的役割と三浦半島との関わりについて扱う。 ・鎖国体制後、浦賀の地が経済的、軍事的な要地であったことを扱う。 ・上記の体制を維持するために三浦半島の村々(百姓)が果たした役割を扱う。 ・浦賀奉行所の業務や人員配置、活動を伝える。									
		按針胸像		○	三浦按針のイメージを伝える	・三浦按針の胸像。	○	1	45	100	30				
カ	激動の横須賀～黒船来航から現在まで～				・仕様書に記載										
	1 幕末・維新			◎	・ペリー来航を画期として、日本と横須賀が新しい時代へ向かっていくことを扱う。										
		ペリー来航			◎	・ペリー来航が日本的、世界史的な画期となることを扱う。 ・海防諸藩や地域社会の動向を扱う。 ・横須賀が日本が国際社会に参加していく「日本開国」の大きな転換点となった驚きを感じてもらうことを期待する。									
	2 横須賀製鉄所から横須賀市誕生	小栗と横須賀製鉄所			◎	・横須賀製鉄所の建設およびその発展とともに横須賀市が近代化・都市化され、市政施行にいたる歴史的経緯を扱う。									
					◎	・横須賀製鉄所の歴史とこれに関わった人物を紹介し、横須賀が日本近代化に与えた影響の大きさを扱う。 ・小栗上野介について扱う。 ・メートル法の導入、時計による労働時間の管理、欧米都市計画による職住分離や住宅地開発を扱う。 ・横須賀製鉄所は、日本初の近代的な総合工場として、造船だけでなく、機械、建築、土木、港湾など工学全般を網羅した。また技術伝承のため鑛舎が設置され多くの日本人技術者が育った。ここで培われた技術や文化が日本全国に広がったことについても扱う。									
			小栗胸像		○	小栗上野介忠順のイメージを伝える	・小栗上野介の胸像。	○	1	45	70	30			
			ヴェルニー胸像		○	ヴェルニーのイメージを伝える	・ヴェルニーの胸像。	○	1	45	70	30			
		埋立による市街地整備の始まり			△	・海面を埋め立て、市街地を形成する経緯をたどる。下町に2本の縦断道ができることを扱う。									
		横須賀市誕生 横須賀市市政施行			◎	・逸見・上町との合併、全国21位の都市となった当時の繁栄の姿を扱う。 ・幕末期の横須賀村から横須賀町へ、逸見村、豊島町の合併の経緯と変遷を扱う。 ・横須賀製鉄所は、日本初の近代的な総合工場として、造船だけでなく、様々な機械が造られ、ここで培われた技術や文化が日本全国に広がったことを扱う。 ・効果的な展示手法を期待する。									
		横須賀線開通 横須賀駅開業			△	・海軍大臣西郷従道と陸軍大臣大山巖から、総理大臣伊藤博文宛に要請されてできた鉄道。都市形成に与えた影響と、鎌倉・逗子の都市化の契機となったことを扱う。 ・それまでの横須賀の玄関口は海路だったが、陸路の玄関口として街づくりが進んだことを扱う。									
		3 震災・復興～昭和初期			◎	・震災復興から大軍港都市横須賀の建設まで、本市独自の特徴的な近代都市の形成を扱う。									



[illegible]

参考資料:ここに記載する展示物は、館が所蔵する主な既存資料です。

色塗り通し番号：対応画像が参照可能

通し 番号	展示物	概要(展示物の内容について)	館所蔵	点数	寸法※cm単位		
					Hが垂直方向		
					W	H	D
1	ナウマンゾウ臼歯B	・レプリカ ・出土場所を扱う。		1	30	25	15
2	ナウマンゾウ全身骨格(忠類標本)	・レプリカ ・ナウマンゾウの形態と生態を扱う。		1	430	240	120
3	ナウマンゾウ全身骨格(天岳院下標本)	・レプリカ ・ナウマンゾウの形態と生態を扱う。		1	550	260	120
4	ナウマンゾウ全身骨格(日本橋浜町標本)	・レプリカ ・ナウマンゾウの形態と生態を扱う。		1	320	187	120
5	動くナウマンゾウ	・模型 ・横須賀から発見されたナウマンゾウ化石に基づく。 ・ナウマンゾウの形態と生態を扱う。		1	360	200	120
6	ナウマンゾウ足跡レプリカ	・レプリカ ・ナウマンゾウの形態と生態を扱う。	○	1	60	60	10
7	ナウマンゾウが生きていた当時の環境再現	・ナウマンゾウの復元CG、当時の環境再現映像、パネル ・ナウマンゾウが生きた古環境と時代を扱う。		1			
8	ヒミズ	・剥製 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。	○	1	10	4	4
9	アズマモグラ	・剥製 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。	○	1	12	5	5
10	ニホンザル	・骨格標本 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。	○	1	60	25	35
11	ヒト	・模型 ※考古ジオラマで展示中、服の復元の必要あり。 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。		1	160	90	90
12	ノウサギ	・剥製 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。	○	1	50	25	35
13	ムササビ	・剥製 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。	○	1	60	30	25
14	アカネズミ	・剥製 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。	○	1	15	15	15
15	アカギツネ	・剥製 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。	○	1	60	25	80
16	アカギツネ(骨格)	・骨格標本 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。	○	1	80	25	38
17	タヌキ	・剥製 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。	○	1	50	20	30
18	タヌキ(骨格)	・骨格標本 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。	○	1	50	25	34
19	ツキノワグマ	・剥製 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。	○	1	108	75	110
20	タイリクイタチ	・剥製 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。	○	1	45	15	25
21	タイリクイタチ	・骨格標本 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。	○	1	40	20	20
22	アナグマ	・剥製 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。	○	1	75	30	50
23	イノシシ属	・剥製 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。	○	1	80	25	55
24	ニホンジカ	・剥製 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。	○	1	120	50	180
25	ヤバオツノジカ(全身骨格模型)	・横須賀でも化石が発見されている絶滅種ヤバオツノジカをレプリカで展示。 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。		1	300	200	105
26	ヤバオツノジカ(角)	・レプリカまたは実物。 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。	○	1	40	30	20
27	ニホンムカシジカ(角)	・実物 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。	○	1	30	20	10
28	その他の共存した動物	・剥製やレプリカ。 ・中期～後期更新世の日本の動物相を扱う。 例:シントウトガリネズミ、チビトガリネズミ、ニホンジネズミ、ニホンモグラジネズミ、シカマトガリネズミ、ヒメヒミズ、ミズモグラ、コキクガシラコウモリ、キクガシラコウモリ、ホオヒゲコウモリ属の1種、ウサギコウモリ、ユビナガコウモリ、ニホンコテングコウモリ、ニホンモモンガ、ニホンムカシアシヤチネズミ、スミスネズミ、ハタネズミ、ニホンムカシハタネズミ(絶滅種)、フランティオイデスハタネズミ、ヒメネズミ、ヤマネ、タイリクオオカミ、ヒグマ、オコジョ、イイズナ、クズアナグマ、ムカシアナグマ(絶滅種)、カワウソウ属(日本では絶滅種)、トラ(日本では絶滅種)、シベリアジャコウジカ、ニホンムカシジカ(絶滅種)、ナツメジカ(絶滅種)、ヘラジカ(日本では絶滅種)、ステップバイソン(絶滅種)、オーロックス(絶滅種)、ニホンカモシカ		複数			
29	ミエゾウ下あご	・レプリカ ・形態と生態を扱う。	○	1	75	27	20
30	ハチオウジゾウ臼歯	・レプリカ ・形態と生態を扱う。	○	1	25	12	15
31	ハチオウジゾウの牙	・レプリカ ・形態と生態を扱う。		1	150	40	20
32	アケボノゾウ臼歯	・レプリカ ・形態と生態を扱う。	○	1	25	10	15
33	横須賀・三浦半島の人文分野の展示概要を紹介する映像	・土器、埴輪、三浦一族、浦賀奉行所、ペリー来航、横須賀製鉄所、海軍工廠、軍転法などを扱う。					
34	横須賀・三浦半島の自然分野の展示概要を紹介する映像	・昆虫、動物、地質、植物、海洋生物などを扱う。					
35	浅海・深海の生き物映像	・三浦半島の海には多くの生物がいることを扱う。		1			
36	森の動植物の映像	・三浦半島の森には多くの生物がいることを扱う。		1			
37	空から見た横須賀の映像	・三浦半島の自然景観や横須賀の街並みを扱う。		1			
38	市内の風物詩の映像	・横須賀には多くの祭りや年中行事、名所があることを扱う。		1			
39	横須賀の魅力体験	・インタラクティブ体験 ・三浦半島や横須賀の魅力を構成する要素を扱う。		1			
40	トビ	・海上の海鳥レプリカ ・魚を狙う鳥の様子を扱う。			50	50	50
41	ウミウ	・海上の海鳥レプリカ ・魚を狙う鳥の様子を扱う。			50	50	50
42	カワウ	・海上の海鳥レプリカ ・魚を狙う鳥の様子を扱う。			50	50	50
43	シギ	・海上の海鳥レプリカ ・魚を狙う鳥の様子を扱う。			50	50	50
44	チドリ	・海上の海鳥レプリカ ・魚を狙う鳥の様子を扱う。			50	50	50

45	コマッコウ	・骨格か模型 新規製作または購入					
46	矢番						
47	マンボウ	・海中の生物レプリカ	○		100		
48	キハダマグロ	・海中の生物レプリカ	○		100		
49	ヒラソウダ	・海中の生物レプリカ	○		40		
50	サワラ	・海中の生物レプリカ	○		100		
51	シイラ	・海中の生物レプリカ	○		100		
52	オサガメ	・海中の生物レプリカ ・オサガメの大きさを扱う			300		
53	シャコの幼生	・拡大模型 ・形態と役割を扱う。			50	50	50
54	珪藻	・拡大模型 ・形態と役割を扱う。			50	50	50
55	放散虫	・拡大模型 ・形態と役割を扱う。			50	50	50
56	丸木舟	・構造と使われ方を扱う。模型新規製作。			60	30	30
57	漁船	・ミニチュア模型 ・漁法や海環境に応じた工夫と技術を扱う。			60	30	30
58	漁撈用具	・三浦半島の地形・潮流・黒潮の恩恵を受けた多様な漁法に対応する多様な漁撈用具を扱う。			60	30	30
59	様々な蛸壺の模型	・形や用途扱う。			30	20	20
60	人物模型	・多様な漁法扱う。			60	30	30
61	黒船	・模型 ・黒船から現代タンカーまで、横須賀に関わる船の技術発展の流れを扱う。			60	30	30
62	造船	・模型 ・黒船から現代タンカーまで、横須賀に関わる船の技術発展の流れを扱う。			60	30	30
63	タンカー	・模型 ・黒船から現代タンカーまで、横須賀に関わる船の技術発展の流れを扱う。			60	30	30
64	横須賀ゆかりの船大集合	・造船史を扱う。 ・船の重さ・速さを扱う。					
65	シロウリガイ	・造作 ・深海に生息するシロウリガイの姿と生態を造作で再現し、相模湾の海底に存在する化学合成生物群集の特徴を扱う。					
66	海底に沈んだ鯨骨	・造作 ・海底に沈む鯨骨を造作で再現し、死骸を中心に広がる深海生態系のつながりと多様性を扱う。					
67	鯨骨生物群衆	・鯨骨に集まる多様な深海生物を造作で示し、死骸から成立する特異な生態系の仕組みを扱う。					
68	海の空間を演出する映像	・海上から深海までの様子を映像で表現し、横須賀の海の広がりや多様な世界を扱う。					
69	JAMTTECとは	・深海探査や海洋研究を行う国の研究機関として、その役割と活動を扱う。					
70	深海の様子	・相模湾の深海環境や生物、多様な地形の特徴を扱う。					
71	陸の空間を演出する映像	・陸域の環境と営みを静的・俯瞰的に理解する映像 ・地上から上空へ広がる風景や鳥・虫・山並み、遺構等、横須賀の自然と歴史を扱う。					
72	横須賀の自然や人のくらしの書き割り	・横須賀の自然や人の暮らしの書き割り ・自然と人が共存する風景を扱う。					
73	しんかい6500コックピット	・造作 ・しんかい6500のコックピットをモデルにした造作を作り、スライダーの入口とする。					
74	スライダー	・2階から1階に降りることができる、子ども向けのスライダー。					
75	ボールコースター	・自然界における「くう・くわれる」の関係性や、水・炭素・リンなど物質循環の流れを扱う。 ・「海中から大気」や「海中から森」へ物質が移動する様子を扱う。					
76	海の生物のバズル	・骨格や生息地と生き物を対応させるバズル ・海の生物の特徴と多様性を扱う。					
77	横須賀ミクロ観察	・実体顕微鏡 ・選んだ標本を観察したり、モニター付きハンディ顕微鏡で対象物の微細な特徴をモニター越しに確認する					
78	プランクトンorベントス？	・生物がプランクトンかベントスかを見分けることで、海の生き物の暮らし方や、生態系がどのように成り立っているかを扱う。					
79	カウンターシェーディングの仕組み	・ハダカワイシの体色を例に、背と腹の明暗差で外敵から身を守る“カウンターシェーディング”の仕組みを扱う。					
80	釣り・漁法体験展示	・実際の釣り具や漁法を模した装置、釣り遊び体験、ひもの結び方体験 ・横須賀の漁の知恵と技術を扱う。					
81	見突き漁体験展示	・箱めがねにみたてたVRゴーグル ・見突き漁を扱う。					
82	船にまつわる科学展示	・船が浮く原理や通信技術のしくみを扱う。 ・浮力や電波などの科学的原理を扱う。					
83	ナウマンゾウバズル	・骨格化石のバズル ・骨の形状観察を通して、動物の骨格についての扱う。			40	5	30
84	発掘体験砂場	・大きなケース内に砂や砂利を敷き、底面にある化石等を模した対象物を発掘できるもの。発掘に必要な道具も伝える。 ・ナウマンゾウ化石レプリカ、ヤベオオツノジカ化石レプリカ、カキ(貝)を発掘させる。発掘からこれらが何の化石であるか、地層ができた当時の環境はどのようなであったか、などを探究させる。 ・化石発掘を体験させ、そこから何がわかるか、を考えさせる。			150	20	100
85	生態系バランスバズル	・パーツが増えたり欠けたりすると積み木などが崩れるバズル ・ノネコや放流、移植について、科学的観点からの悪影響を扱う。					
86	花と昆虫バズル	・花と昆虫を組み合わせるバズル ・植物と昆虫の関係や受粉のしくみを扱う。					
87	火起こし疑似体験展示	・昔ながらの火起こしの仕組みを、火種を使わず安全に体験 ・道具の工夫や摩擦熱の原理など、人の知恵を扱う。					
88	くずし字の読み書き体験展示	・用紙と筆記用具を常設し、くずし字の見本に沿って書き写す体験 ・くずし字の形の特徴や読み解き方を扱う。					
89	縄文土器文様付け体験展示	・縄を用意し、固定された粘土板に押し当てて模様をつける体験 ・縄文土器の文様づくりの方法、模様の意味や作り手の工夫を扱う。					
90	土器バズル	・土器の破片を組み立てるバズル ・形や特徴を通して、当時のくらしや土器の役割を扱う。					
91	昔のくらし衣装体験	・昔のくらしの衣装を着て撮影できる ・当時の暮らしや人々の姿を扱う。					
92	レンガの積み方体験展示	・イギリス積みとフランス積みの違いを積木で体験 ・積み方による強さや美しさの工夫を扱う。					
93	調査服でなりきり体験	・調査服を着て撮影できる ・研究者の仕事や自然調査の姿を扱う。					
94	三浦半島に生息する生物の情報を調べられる仕組み	・情報検索端末 ・生物の名前、生態、生息地、豆知識を扱う			1		
95	魚類標本	・東京湾や相模湾、三浦半島の河川に生息する魚類の剥製・レプリカ・液浸標本(既存)を展示。剥製・レプリカ・樹脂封入標本などを新規購入、液浸標本を入れるアクリルケースの新規作成をする可能性が考えられる ※現場説明会にて収蔵庫案内予定	○		30		
96	両生・爬虫類標本	・三浦半島に生息する両生類・爬虫類のレプリカ・樹脂封入標本・液浸標本(既存)を扱う。新規購入の可能性もある ※現場説明会にて収蔵庫案内予定	○		20		

97	鳥類標本	・三浦半島に生息する鳥類の本剥製(既存)を扱う。新規購入の可能性もある ※現場説明会にて収蔵庫案内予定	○	20			
98	哺乳類標本	・三浦半島に生息する哺乳類の本剥製(既存)を扱う。新規購入の可能性もある ※現場説明会にて収蔵庫案内予定	○	10			
99	昆虫標本	・三浦半島に生息する昆虫類(ドイツ箱に保管・既存)を扱う。 ※現場説明会にて収蔵庫案内予定	○	20 前後	51	42	6
100	甲殻類標本	・三浦半島に生息する甲殻類の乾燥標本・液浸標本(既存)を扱う。樹脂封入標本などの新規購入・作製の可能性もある ※現場説明会にて収蔵庫案内予定	○	30			
101	貝標本	・三浦半島に生息する貝類の乾燥標本(既存)を扱う。 ※現場説明会にて収蔵庫案内予定	○	複数			
102	被子植物標本	・三浦半島に生息する生物の多様性を扱う。 ※現場説明会にて収蔵庫案内予定	○	複数			
103	裸子植物標本	・三浦半島に生息する生物の多様性を扱う。 ※現場説明会にて収蔵庫案内予定	○	複数			
104	シダ植物標本	・三浦半島に生息する生物の多様性を扱う。 ※現場説明会にて収蔵庫案内予定	○	複数			
105	コケ植物標本	・三浦半島に生息する生物の多様性を扱う。 ※現場説明会にて収蔵庫案内予定	○	複数			
106	藻類標本	・三浦半島に生息する生物の多様性を扱う。 ※現場説明会にて収蔵庫案内予定	○	複数			
107	菌類標本	・三浦半島に生息する生物の多様性を扱う。 ※現場説明会にて収蔵庫案内予定	○	複数			
108	三浦半島のその周辺の自然環境分布	・ジオラマ ・三浦半島とその周辺地域・海域を扱う		1	300	300	40
109	深海映像	・映像					
110	タカアシガニ(大)	・剥製	○	1	160	125	100
111	ミツクリザメ	・液浸標本 ※アクリルケースは新規製作の必要あり。	○	1	275	60	30
112	サケガシラ	・液浸標本 ・既存のアクリルケースに保管されている状態で扱う。	○	1	277	55	29
113	リュウグウノツカイ	・液浸標本 ・既存のアクリルケースに保管されている状態で扱う。	○	1	105	42	27
114	テンガイハタ	・液浸標本 ・既存のアクリルケースに保管されている状態で扱う。	○	1	174	35	21
115	アカナマダ	・液浸標本 ・既存のアクリルケースに保管されている状態で扱う。	○	1	146	38	17
116	ラブカ	・液浸標本 ※アクリルケースは新規製作の必要あり。	○	1	40	140	32
117	浅海映像	・映像 ・浅海に広がる様々な環境を扱う。いくらかの水深帯について、岩礁や砂泥底、東京湾と相模湾などのような切り口で扱う。 ・同所についても異なる季節で比較できる映像。	○	1			
118	浅海の生物のくらしかたと種類	・剥製、模型、写真などで浅海の生物を見せる ・水表生物Neuston、浮遊生物Plankton、遊泳生物Nekton、底生生物Benthosなどの、生態に応じた区分を扱う。		1			
119	シノノメサカタザメ	・剥製	○	1	230	60	120
120	藻場の生物多様性	・アマモ場・ガラモ場など藻場環境を扱う。 ・藻場に様々な生物が棲みこむ様子を模型や剥製で再現。		1	60	60	100
121	岩礁ジオラマ	・三浦半島を代表する海岸線である「岩礁」のジオラマ。ここに生物の標本(乾燥標本)を入れ込み、潮下帯・潮間帯・潮上帯のそれぞれの環境にどのような生物が生息しているかわかるものとする		1			
122	映像	・各「陸と海の境界」の様子(満ち引きでの変化やどんな生物が生息しているか)生息する生物の生態を動画でも学べるものとする	○	1			
123	沿岸の様子(岩礁以外)	・ミニジオラマかパネルなどを想定。あるいは映像でも。 ・干潟(江名湾)や砂浜(長浜など)、海崖(城ヶ島など)、人工護岸(港)などの環境・それぞれで見られる生き物を扱う。		4	60	60	30
124	陸と海のつながり	・パネル、剥製、模型 ・海岸から海岸へ種子や幼生を散布・分散する動植物、陸水と海水を行き来(回遊)する動物を扱う。つまり海と陸の境界をまたいで生活する生物もいる。これらの主多様性や生息環境を知ることで陸と海のつながりがわかるものとする これによって陸と海のつながりを学ぶ		10			
125	危険な生物	・パネル、模型、実物標本 ・磯や干潟などで見られる危険な生き物(アカエイ、ヒョウモンダコ、スズメバランジュウガニなど)を扱う。		5			
126	丘陵の様子	・実物大ジオラマ、剥製※一部は既存を利用可 ・林床を扱う。		1	60	60	30
127	溪流の様子	・ジオラマ ・三浦半島では数少ないほぼ手つかずの自然環境を扱う。		1	60	60	30
128	谷戸の様子	・ジオラマ ・溪流、ため池、用水路、湿地など水辺環境を扱う。 ・傾斜地や尾根に広がる山林が細い谷を囲む様子を扱う。		1	60	60	30
129	陸域の自然における食物連鎖	・パネル、標本、模型 ・陸上動物の食った食われたの関係を扱う。		5			
130	陸域の自然に生息する危険な生き物	・パネル、模型、実物標本等 ・陸域の自然に見られる危険な生き物を扱う。		5			
131	陸域の自然にみられる外来動物	・パネル、模型、標本等 ・外来生物を扱う。		10			
132	里地・里山の様子	・農耕具の実物資料、パネル、農作物の標本や里山的自然にくらす動植物の標本など ・三浦半島の主要な農作物の紹介を通じて、三浦半島の自然環境が人の生業や文化に与えた影響を扱う。 ・人と自然のかかわりのなかで生じている外来生物などの問題についても、剥製などをもちいつく扱う		1	100	100	100
133	横須賀の歳時記	・映像や画像付きの1年の行事カレンダー ・今は途絶えてしまったものも含め、横須賀の年中行事や祭礼を扱う。	○	12			
134	横須賀の四季	・映像、パネル ・自然環境や農業漁業の様子を扱う。		1			
135	工業化以前の農具	・鍬や鋤など耕作道具 ・千歯扱きや唐箕など脱穀関係道具 ・自然素材で作られた当時の道具を扱う。	○	5	70	100	30
136	工業化以前の漁具	・採介藻、釣竿や釣針、漁網など ・自然素材で作られた当時の道具を扱う。	○	50	20	20	20
137	工業化以前の職人道具	・船大工の道具 ・自然素材で作られた当時の道具を扱う。	○	50	20	20	20
138	工業化以降の漁具	・プラスチック製漁具 ・工業化により道具の素材が変化したことを伝える。	○	10	20	20	20
139	高度経済成長がもたらした漁村の変化	・木造船からFRP船に変化したことを扱う。 ・なぎさの丘開発による土地利用と住人の職業の変遷を扱う。 ・右記寸法の航空写真(1960年、1970年、1980年、1990年のような区切りのもの)を展示。	○	5	50	50	5
140	高度経済成長がもたらした生業の変化	・湘南佐高なぎさの丘開発の写真、農具・漁具 ・高度経済成長による漁村の都市化を、漁師の畑が宅地化されたことにより扱う。 ・佐島の漁師が共同して使っていた足踏み脱穀機などの農具:FRP船になり航続距離や操業時間が伸びて、漁師にとつての畑のウェイトが減り、その耕作地を売り、宅地開発がなされたことを示す。 ・高度経済成長が道具の変化だけでなく、生活や地域の構成も変化した事例として展示	○	5	50	50	50



141	横須賀の大地の誕生	・映像 ・約5000万年前の三浦枕状溶岩にはじまり、約1800万～250万年前の深海の時代、約50万年前の陸地化、約12.5万年前の下末吉海進、さらには活断層の存在まで。火山活動やプレートのはたらきに影響を受けて形づくられてきた、横須賀の大地の生い立ちを伝える。					
142	黒船前夜までの横須賀の土地の変化、出来事	・模型、映像 ・横須賀の黒船前夜までの地形の時代変遷を紹介することで、複雑な谷戸地形や海岸線を巧みに利用し、自然の制約を克服しながら生活圏や社会機能を拡大させてきた先人たちの土地利用の知恵を伝える ・平地が少なく入り組んだ地形が、人々の生活の場から、江戸を守る天然の要害へと価値を変えていった過程を伝える。	1				
143	三浦半島地質図	パネル、模型 ・三浦半島の地層の種類や分布を扱う。	1				
144	三浦枕状溶岩	・5,000万年前の岩石「天然記念物：三浦枕状岩石」は、プレートの移動によって南の海から運ばれてきたことを扱う。 ・蛇紋岩とともに海洋プレートの断片であることを扱う。	○	1			
145	三浦枕状溶岩(レプリカ)	・レプリカ ・標本で把握できない枕状溶岩の、典型的な「枕」の断面を扱う。	1	50	50	10	
146	三浦半島の化石・岩石	・葉山層群、三浦層群、上総層群、宮田層、横須賀層、沖積層の化石や岩石を扱う。	○	複数			
147	津久井化石床剥ぎ取り標本	・宮田層の剥ぎ取り標本を扱う。	○	1	75	15	260
148	三浦半島の活断層	・模型、パネル ・横須賀市に存在する北断層群は近い将来の活動が予想されていることを扱う。 ・減災について扱う。	1				
149	地層モデル観察体験	・3Dデジタル地層モデル閲覧装置	1				
150	屋内地層観察体験	・展示室で地層観察を再現できる仕組み ・地層の向き、傾き（走向傾斜）の計測、地層の縞模様から地層の形成過程を推測できる仕組みを扱う。	1				
151	旧石器時代の石器	・三浦半島の旧石器時代遺跡から出土した石器群（打木原遺跡、長浜ノ上遺跡、唐池遺跡、大塚東遺跡など）。 ・石器の使用方法や形態変化、素材利用の広がりを示す。	○	複数			
152	縄文時代の土器	・三浦半島の縄文時代遺跡から出土した土器群（上ノ台遺跡、田戸遺跡、野島貝塚、茅山貝塚、吉井貝塚、伝福寺裏遺跡、高坂貝塚など）。 ・縄文時代早期を中心とした標識遺跡や標識土器を扱う。	○	複数			
153	夏島貝塚出土土器レプリカ	・夏島貝塚出土土器（明治大博物館所蔵）のレプリカ	1	35	40	35	
154	縄文時代の石器・石製品	・三浦半島の縄文時代遺跡から出土した石器・石製品（長浜ノ上遺跡、打木原遺跡、高原北遺跡、茅山貝塚、吉井貝塚、大塚台遺跡、下吉井遺跡など）。 ・多様な生産活動や精神文化を扱う。	○	複数			
155	縄文時代の土製品	・三浦半島の縄文時代遺跡から出土した土製品（吉井貝塚、江戸坂貝塚など）。 ・多様な生産活動や精神文化を扱う。	○	複数			
156	縄文時代の骨角器	・三浦半島の縄文時代遺跡から出土した骨角器（平坂貝塚、吉井貝塚、茅山貝塚、高坂貝塚など）。 ・多様な生産活動や精神文化を扱う。	○	複数			
157	縄文時代遺跡出土の自然遺物	・三浦半島の縄文時代遺跡から出土した獣骨や貝類、種実や木材片などの自然遺物（平坂貝塚、吉井貝塚、伝福寺裏遺跡、江戸坂貝塚、称名寺貝塚など）。 ・生活環境や資源利用の在り方を扱う。	○	1			
158	縄文時代に生息していた動植物の現生標本	・三浦半島の縄文時代遺跡から出土した獣骨や貝類、種実や木材片などの自然遺物（平坂貝塚、吉井貝塚、伝福寺裏遺跡、江戸坂貝塚、称名寺貝塚など）自然遺物の現生標本。	○	複数			
159	弥生時代の土器	・三浦半島の弥生時代遺跡から出土した土器群（佐原泉遺跡、高原遺跡、上ノ台遺跡、溝尾遺跡、三浦市毘沙門洞穴など）。 ・器種の多様化や地域差、生活の変化を扱う。	○	複数			
160	蛭畑遺跡採集土器レプリカ	・蛭畑遺跡採集人面土器（神奈川県立歴史博物館所蔵）のレプリカ	1	10	15	10	
161	弥生時代の石器・石製品	・三浦半島の弥生時代遺跡から出土した石器・石製品（佐原泉遺跡など）。 ・多様な生産活動や精神文化を扱う。	○	複数			
162	弥生時代の金属器	・三浦半島の弥生時代遺跡から出土した金属器（高原遺跡、上ノ台遺跡、溝尾遺跡など）。 ・器種の多様化や地域差、生活の変化を扱う。	○	複数			
163	弥生時代の木製品	・三浦半島の弥生時代遺跡から出土した木製品（溝尾遺跡など）。 ・器種の多様化や地域差、生活の変化を扱う。	○	複数			
164	炭化米	・三浦半島の弥生時代遺跡から出土した炭化米（佐原泉遺跡、上ノ台遺跡など）。 ・稲作の開始を扱う。	○	複数			
165	竪穴住居模型（既存）	・弥生時代の竪穴住居模型（縮尺15分の1）。	○	1	55	35	55
166	弥生時代の骨角器	・三浦半島の弥生時代遺跡から出土した骨角器（烏ヶ崎洞穴、猿島洞穴、大浦山洞穴、毘沙門洞穴など）。 ・多様な生産活動や精神文化を扱う。	○	複数			
167	弥生時代遺跡出土の自然遺物	・三浦半島の弥生時代遺跡から出土した自然遺物（猿島洞穴、間口洞穴、毘沙門洞穴など）。 ・生活環境や資源利用の在り方を扱う。	○	複数			
168	古墳時代の土器（土師器・須恵器）	・三浦半島の古墳時代遺跡から出土した土器（長井内原遺跡、長沢1号墳、なたぎり遺跡、小荷谷戸遺跡、大津1号墳、長浜横穴墓群、烏ヶ崎横穴墓群など）。 ・器種の多様化や地域差、生活の変化を扱う。	○	複数			
169	古墳時代の骨角器	・三浦半島の古墳時代遺跡から出土した骨角器（なたぎり遺跡など）。 ・器種の多様化や地域差、生活の変化を扱う。	○	複数			
170	古墳時代遺跡出土の自然遺物	・三浦半島の古墳時代遺跡から出土した自然遺物（なたぎり遺跡）。 ・生活環境や精神文化の在り方を扱う。	○	複数			
171	古墳時代の金属器	・三浦半島の古墳時代遺跡から出土した金属器（長沢1号墳、大塚古墳群、長浜横穴墓群など）。 ・器種の多様化や地域差、生活の変化を扱う。	○	複数			
172	埴輪	・形象埴輪、円筒埴輪 ・群として扱う。	○	複数			
173	横穴墓の構造	・断面模型 ・横穴墓の内部構造を扱う。	1	50	50	50	
174	古代の土器（土師器・須恵器）、陶器	・三浦半島の古代遺跡から出土した土器・陶器（長井内原遺跡、蓼原遺跡、神明谷戸遺跡、中馬堀遺跡ほか）。	○	複数			
175	古代の石器	・三浦半島の古代遺跡から出土した石器（神明谷戸遺跡、中馬堀遺跡ほか）。	○	複数			
176	古代の金属器	・三浦半島の古代遺跡から出土した金属器（上吉井南遺跡、長井内原遺跡ほか）。	○	複数			
177	ト骨	・遺跡出土のト骨（蓼原遺跡）。 ・精神文化の在り方を示す。	○	複数			
178	古代瓦	・三浦半島の古代遺跡から出土した瓦（宗元寺跡、深田遺跡、乗越瓦窯址ほか）。	○	複数			
179	瓦窯模型	・模型 ・乗越瓦窯を扱う。	1	50	50	50	
180	古文書類レプリカ	・文書類レプリカ ・三浦氏とその分家のネットワークや影響力を扱う。	3	42	0.1	30	
181	絵図類レプリカ	・絵図レプリカ ・三浦一族に関連する歴史的場面やゆかりの地を扱う。	3	42	0.1	30	
182	合子レプリカ	・衣笠城址坂の台縁塚出土合子のレプリカ ・平安時代末期の仏教信仰の様相を扱う。	1	8.5	4.7	8.5	
183	衣笠城周辺ジオラマ(小)	・三浦一族の本拠であった衣笠城とその周辺を俯瞰的に扱う。	○	1	112	43	19
184	新井城ジオラマ	・三浦一族の最後の拠点となった新井城を、自然地形や遺構にもとづいて復元し、中世城郭の構造と特徴を扱う。	1	100	30	100	
185	版本	・三浦荒次郎にまつわる伝承を記した江戸時代の版本。	○	1			
186	中世遺跡出土の瓦	・三浦半島の中世遺跡から出土した瓦（満願寺遺跡、薬王寺遺跡ほか）。	○	複数			
187	土器（土師器、かわらけ）、陶器（国産・舶載）	・三浦半島の中世遺跡から出土した土器・陶器（蓼原遺跡、八幡神社遺跡、薬王寺やぐら、蓼原東遺跡ほか）。	○	複数			
188	中世遺跡出土の自然遺物	・半島の中世遺跡から出土した貝類などの自然遺物（蓼原東遺跡ほか）。	○	複数			
189	中世遺跡出土の古銭	・三浦半島の中世遺跡から出土した古銭（蓼原東遺跡ほか）。	○	複数			
190	中世遺跡出土の金属器	・三浦半島の中世遺跡から出土した金属器（蓼原東遺跡ほか）。漁撈用具など。	○	複数			
191	エラスムス像	・龍江院所蔵、国指定重要文化財	1		121		



192	古文書	・レプリカ		2	42	0.1	29
193	古文書類	・浦賀奉行の業務等に関する文書。	○	1	42	0.1	29
194	奉行所絵図	・浦賀奉行所が視覚的にわかる絵図。	○	1	119	0.1	84
195	ブラザーズ号絵図	・異国船打ち払い令、薪水給与令など、鎖国下での基本的な異国船対応の概要と政策の変遷を扱う。 ・蝦夷地の視察や遠見番所の設置、三浦半島の巡見など具体的な幕府の対応を扱う。	○	1	42	0.1	29
196	異国船渡来覚	・三浦半島の所領が異国船対応の問題などに応じて変遷：旗本相給、奉行所など→親藩・譜代(川越、会津、小田原)、奉行所→外様(萩藩・熊本藩など)へと海防大名の性格が変化したことを扱う。 ・砲台場の配置や諸藩陣屋を扱う。	○	1	42	0.1	29
197	海陸御固御場所附	・三浦半島の所領が異国船対応の問題などに応じて変遷：旗本相給、奉行所など→親藩・譜代(川越、会津、小田原)、奉行所→外様(萩藩・熊本藩など)へと海防大名の性格が変化したことを扱う。 ・砲台場の配置や諸藩陣屋を扱う。	○	1	42	0.1	29
198	久里浜上陸図	・鎖国体制の終焉(開国)、西洋技術や文化流入の契機、海防、政治・軍制改革のきっかけ、倒幕の遠因になったなど日本近代史の起点となったことを扱う。	○	1	60	0.1	42
199	ベリー上陸図レプリカ	・絵図レプリカ		2	42	0.1	29
200	ベリー久里浜上陸の様子	・ジオラマ		1	123	30	88
201	サスケハナ号の模型	・ベリー来航時の艦船 ・黒船来航時の全船団の様子を扱う。	○	1	70		
202	ボーハタン号の模型	・ベリー来航時の艦船 ・黒船来航時の全船団の様子を扱う。	○	1	70		
203	ベリー来航に関する古文書、絵図類	ベリー来航の様子について記された文書	○	10	42	0.1	29
204	走水水道土管	・陶製土管	○	2			
205	城ヶ島灯台日時計	・小型の日時計 ・時計による労働時間の管理を扱う。	○	1	30	20	30
206	古文書レプリカ	ヴェルニーや柴田日向守、小栗上野介サイン入り文書、名刺など30点のなかで順次取り換え		30	30	0.1	20
207	小栗上野介と渡米	・実物大人形 ・渡米時の小栗上野介について扱う。		1	40	160	35
208	サバティエ植物学書	・サバティエが著した書籍2冊	○	2	25	25	4
209	サバティエが命名した植物レプリカ	・サバティエが命名した植物レプリカ		5			
210	付属学校出身者の史料群	・図面 ・横須賀製鉄所の付属学校舎の史料群を扱う。	○	50			
211	近代歴史遺産の出土遺物群(出土煉瓦コレクション)	・鉄砲、模擬砲弾模型、各種物品類 ・東京湾要塞と横須賀製鉄所とその後身施設を扱う。 ・東京湾要塞の整備は、レンガやコンクリートの工法など、日本における新しい工業技術を飛躍的に発展させる原動力となったことを扱う。 ・明治陸軍は、西南戦争以後、東京湾要塞の建設に着工し、観音崎、猿島などを皮切りに多くの砲台や堡壘が築かれた。要塞司令部は横須賀の上町に置かれ、横須賀は海軍だけでなく陸軍の駐留する街となったことを扱う。	○	30			
212	銃砲	・銃砲	○	3			
213	模擬砲弾模型	・砲台で訓練用として使われていた砲弾。木製。		2	20	75	20
214	横須賀港一覧図	・日本遺産構成資料 ・横須賀港一覧絵図	○	1			
215	猿島砲台模型	・模型 ・国指定史跡東京湾要塞猿島砲台跡を包括的に扱う。		1			
216	近隣町村合併の地図	・地図レプリカ ・行政区域(市域)の変遷を扱う。		1	120		90
217	初代横須賀駅	・駅舎周りのミニジオラマ、横須賀ゆかりの鉄道ミニ模型(初代横須賀線車両) ・横須賀線開業の様子を扱う。		2			
218	大軍港	・ジオラマ、映像 ・旧横須賀製鉄所から海軍工廠、航空技術廠で構成される横須賀軍港を扱う。 ・空技廠映像を扱う。		1	400	600	
219	陸奥模型		○	1	700		
220	製作品模型：空母信濃	・横須賀海軍工廠で建造された世界最大の空母信濃の模型	○	1			
221	震災報告書・古写真	・震災復興誌、古写真	○				
222	被災・せん断破壊レンガ・観音埼灯台煉瓦	・建造物の煉瓦、煉瓦塊 ・横須賀海軍需品庫や観音埼灯台など関東大震災で被害を受けたことを扱う。	○				
223	震災記念品類	・絵葉書、震災記念盃などの史料群	○				
224	震災復興関係資料とその一部のレプリカ			10			
225	近隣町村合併の地図			5	120	90	
226	史料(図面・写真)	・明治期の街なみの写真など	○				
227	古文書類	・明治期の街の様子を紹介する小冊子など	○				
228	横須賀市立久木小学校創立5周年写真		○				
229	重要行政史料群	・一部レプリカ					
230	古文書類		○				
231	国道16号の史料	・パネル、古写真、一覧表など。 ・山の中の浦賀道からが今の国道整備に至ったことを扱う。					
232	トンネル工事写真	・工事写真アルバムより	○				
233	京急コンクリート部材(コンクリート部材コーナー・明治大正昭和のコンクリート)	・コンクリートのサンプル	○				
234	半原軍港水道のジオラマ模型	・セセッション様式の美しい遺産であることを扱う。 ・旧横須賀軍港水道の技術史的価値と建築デザイン史上の価値扱う。		1	100	100	
235	横須賀幹線道変遷	・映像 ・道路が出来上がってきた様子とその重要性を扱う。 ・国道16号線開通など、横須賀の都市化に大きな影響を与えた交通路の形成過程と重要性を扱う。		1			
236	古文書類	・行政文書など ・海軍の町から基地の町へ変わったことを扱う。	○				
237	万代会館・井上成美邸などの別荘建築と歴史紹介	・図面、写真など					
238	大正時代商工明細図	・商業地図など	○	1			
239	文化住宅ミニ模型	・住宅プランのミニ模型 ・西洋生活が和館に導入された頃の時代を扱う。		1			
240	カフェー・ミルクホールなどの飲食店ミニ模型	・ミニ模型 ・西洋風の飲食店ができ始めた頃の時代を扱う。		1			
241	横須賀グッズ集合	・どぶ板通り商店街が、危ない街から横須賀を代表する街になる変換期を扱う。 ・象徴的なスカジャン ・懐かしいアメリカンな物品食事レプリカ ・音楽Jazz等	○	20			
242	豚と軍艦関連史料	・戦後の横須賀を舞台にした映画でドブ板通りや街並みの様子などを扱う。	○				
243	ヤミイチから若松マーケットへミニジオラマネオン	・ミニジオラマ ・若松マーケットの戦後間もないころの街並みを扱う。		1	60	20	45

244	どぶ板街並みジオラマ(昼と夜のネオン)	・ジオラマ又は小ぶりの再現模型		1	150	90	
245	軍転法を活用した施設の紹介	・パネル、写真、小物類 ・市内の学校や公園などの公共施設の多く、あるいは日産、関東自動車、ニチロなど戦後の主要な企業進出は、軍転法により進められたことを扱う。					
246	軍転法小冊子や文書	・軍転法小冊子や文書	○		30	1	21
247	軍転法地図AO版	・旧軍施設名を扱う。	○		119	84	
248	レジスター		○		60	45	45
249	初代VHS・ソニー製品		○		60	20	45
250	市内製造の製品		○		60	45	45
251	小田急ロマンスカー初代模型	・初代小田急ロマンスカーの模型 ・横須賀海軍航空技術廠出身の三木忠直氏が設計し、狭軌世界最速記録を樹立したことを扱う。		1	60	15	15
252	横須賀製の名車模型	・ミカサスポーツ、コロナ、プレジデントなど他2台は厳選		5	30	10	20
253	昔の製造業の動画映像照会システム	・戦後の横須賀の産業史を紹介した映像 ・旧軍から連なる技術を扱う。		1			
254	0系新幹線模型	・金属製リアル模型(一車両分) ・横須賀出身者が開発に携わった新幹線の歴史を扱う。		1	100	25	25
255	懐かし映像検索システム	・映像、映像閲覧システム ・横須賀の商業、工業が飛躍的に発展し、「人間都市横須賀」を宣言した、伸び行く横須賀の時代を扱う。		1			
256	団地文化ミニジオラマ (51c型プラン・DKの誕生)	・LDKの団地に暮らし、ビル化された商業施設で買い物をする、近代的な都市生活を表現 ・衣笠久里浜の急速な市街地化		1	30	40	40
257	図面	・三笠ビルやプライムなど、最先端の都市開発ビルの設計図や調査図面など	○				
258	模型	・三笠ビルやプライムなど、最先端の都市開発ビルの復元模型	○	1			
259	古写真	・三笠ビルやプライムなどの古写真	○				
260	昭和時代のグッズ	・古い雑誌、レコードなど ・昭和時代の懐かしい史料群	○				
261	看板建築ミニ模型	・模型(数棟分)、情景パネル ・上町地区の昭和初期の特徴的な歴史的建造物である看板建築の店舗併用住宅建築を扱う。 ・当時の街並みを扱う。	○	1	45	45	45
262	横須賀製鉄所1号ドック設計図や配置図など	・横須賀製鉄所の設計図。 ・資料はA4からA1サイズで構成	○	5	60	0.1	90
263	横須賀製鉄所古写真コレクション	・写真コレクション数は50点 ・50点のうち2～3点はレプリカを作成し、展示する。 ・作成するレプリカの大きさはA4サイズ程度。 ・レプリカ作成したコレクションを含むすべてのコレクションを画像で閲覧することができるようにする。コレクションはデジタル化済み。	○	3	40	0.1	25
264	横須賀製鉄所(造船所)で建造された軍艦の模型	・軍艦模型(清輝・横須賀丸・三景艦・三笠・薩摩・ド級戦艦・超ド級戦艦)、スライドショー、映像		1	120(長さ)		
265	密集市街地の形成とたびたびの大火の記録	・パネル展示、古写真、一覧表	○	1	120		90
266	第1回横須賀市統計書	・横須賀市が市政を施行した時期に作られた市の人口や面積、商工業などの基本行政内容を記載した図書	○	1			
267	市政施行時の街並の写真	・古写真	○	10	42	0.1	29
268	プロペラ(木製・2m・館蔵)	・横須賀海軍工廠で最後に製造された飛行機の昭和6年製の木製プロペラ	○	1	200	20	30
269	戦艦陸奥や駆逐艦の設計図	・レプリカ(名刺サイズ、A4サイズ手紙資料、A1サイズの青焼き図面等)	○	複数			
270	三木忠直コレクション	・レプリカ(名刺サイズ、A4サイズ手紙資料、A1サイズの青焼き図面等)	○	複数			
271	市街地の変遷	・模型(4D模型)+映像	○	1			
272	新旧合わせ図や古写真など	・古地図、風景写真 ・震災復興後から昭和初期の横須賀の街の繁栄の様子を扱う。 ・近代的な都市基盤の整備の状況や近代建築などを扱う。 ・今に残る明治時代の道路の痕跡を扱う。		2	90	120	
273	新旧道路位置情報紹介	・タッチパネル ・横須賀の商業やくらしなどの都市文化を総合的に紹介する。		1	119	84	
274	考現学から見たあの時の横須賀	・パネル ・一日の食事レプリカ ・卒論レプリカ ・卒論閲覧映像端末システム		5	29	21	
275	宅地造成一覧図	・市の開発誘導政策に基づく宅地造成計画図	○	1	90	1	120
276	宅地パンフレット類	・昭和時代の団地開発に伴う入居者募集パンフレットなど	○	約5	30	1	21
277	黒電話体験		○	1			
278	3種の神器と言われた家電	・電気冷蔵庫、電気洗濯機、白黒テレビ、カラーテレビ、クーラー、カラーテレビ ・旧3種の神器と新3種の神器を扱う。	○	3			
279	都市の近代化の光と影	・パネル、映像(データ支給) ・急速な都市化から住環境維持向上、学校教室数の不足、通勤地獄、緑化減少による景観破壊や都市災害など、都市化による弊害を扱う。					
280	近代化遺産模型	・縮尺1/200程度の模型群 ・東京湾要塞・東芝ライテック、逸見浄水場、走水配水池建物(日本現存最古RC)、上町の看板建築街並み、京急の石積み風トンネルと当初列車、横須賀線の煉瓦トンネル、井上成美邸、機械遺産を扱う。		30			
281	詳細解説パネルと映像案内	・検索端末 ・近代化遺産の位置情報と解説情報を案内するシステム		1			
282	近世・近代歴史遺産のマップ映像	・歴史スポットと歴史遺産の分布を扱う。		1	300	400	
283	近現代史ダイジェスト映像	・映像 ・横須賀の近現代史の流れと魅力を扱う。		1			
284	資料収集の現場写真、解説	・A1縦パネル額装壁面吊下げ					
285	保存処理・燻蒸・撮影等の現場写真、解説	・A1縦パネル額装壁面吊下げ		3	60	84	1
286	観察・分析の現場写真	・パネル展示		1	60	84	1
287	スケッチや写真など調査結果	・パネル展示		1			
288	解説	・パネル展示		1			
289	行事予定やトビックス展示の紹介	・50インチ横置きディスプレイ		1	111	63	5
290	講座等教育活動紹介(行事予定も含む)			1			
291	収蔵資料DBやデジタルアーカイブ公開活動に関する解説			1			
292	展示更新やトビックス展示を行う意義についての解説	・パネル展示		1	60	84	1
293	ティラノサウルス		○	1	62	30	83
294	オアシスの足跡		○	1	130	15	116
295	アノマロプス		○	1	40	30	200
296	タニトラケロス		○	1	140	20	80

297	セラングラスボダス		○	1	38	20	220
298	竜脚類の足跡		○	1	140	70	120
299	バラブロントボダス		○	1	350	20	130
300	いろいろな大きさの鳥脚類の足跡		○	1	160	30	60
301	カリリクニウムの歩行跡		○	1	55	20	220
302	ケラトプシバス前		○	1	74	30	60
303	ケラトプシバス後		○	1	76.5	30	90
304	天井坑の足跡		○	1	120	15	153
305	人間が入れる竜脚類の足跡		○	1	140	70	120
306	台座のないはく製資料		○	25	40	30	20
307	寺林タマムシ類コレクション	・ドイツ箱	○	40	51	42	6
308	大野チョウ類コレクション	・ドイツ箱	○	120	51	42	6
309	小規模の海外産標本群の集約コレクション	・ドイツ箱	○	120	51	42	6
310	スズメバチの巣	・30～40Lのリュックサック大の巣を天井から吊るして収蔵展示する。		15	40	80	40
311	赤星直忠氏の寄贈資料	・横須賀や神奈川県をはじめ、日本全国や海外での収集・調査資料	○	複数			
312	向井将監正方夫妻墓出土品	・向井将監正方夫妻墓出土の甕棺など	○	2	85	100	85
313	幕末維新期以降の旧陸軍や海軍関係などの近世・近代史上重要な物品類の史料群		○	複数			
314	明治期から昭和期を中心とした浦賀造船所などの産業史や生活史等の近世・近代史一般に関わる物品類の貴重資料群		○	複数			
315	明治期から昭和期において横須賀で開発された技術や製品に関する史料(三木忠直コレクション、米軍木型、ビクター社製品など)		○	複数			
316	化石・岩石・鉱物コレクション	・アンモナイトコレクション、地質時代の化石コレクション、鉱物コレクション	○	複数			
317	海洋生物および脊椎動物コレクション	・羽根田発光魚類コレクション(当館の発足ともかかわる歴史的経緯を合わせた展示;液浸標本);皇室と関わりのある魚類標本(液浸);イトウ(魚類)の台座付き剥製標本(ペリーとの関連を紹介しつつ展示)	○	複数			
318	植物・藻・菌類コレクション	・種子・果実資料22点 ・藻類大型標本5点	○	複数			
319	昆虫・陸上無脊椎動物コレクション	・大型ドイツ型標本箱(W51×H42×D6or8)を奥の収蔵室から持ち出して展示 ・ハチの巣など標本箱に入らない大型乾燥資料を奥の収蔵室から持ち出して展示 ・液浸標本もしくは樹脂封入標本を奥の収蔵室から持ち出して展示	○	複数			
320	市指定文化財「横須賀の職人道具」	・大工・畳屋・菓子屋・美容師・パン屋など各種職人の道具	○	複数			
321	常設展示では扱えなかった衣食住関係の民具や農具	・衣食住や農耕・土木工事に使用した道具	○	60	30	30	30
322	博物館収蔵資料データベース閲覧インターフェース	・タッチディスプレイ ・登録され公開可能な資料データのうち、画像を伴っているものを分野別に閲覧したり分野横断的に検索できるDB(HPIに実装されるものと同じイメージ)		1	90	120	10
323	デジタルデータ閲覧システム	・高精細画像の強拡大表示(既存資料あり) ・3Dデータのタッチ閲覧(既存資料あり) ・動画再生(既存資料あり) ・資料画像入り年表ロール映像 ・総数は目安160点:各分野20点。高精細画像、比較的3D化しやすい資料、動画について、7割は既存資料として提供を想定。		1	90	120	10
324	サテライト検索	・横須賀や三浦半島の自然や歴史のスポットを検索できる端末。		1			
325	床面航空写真	・巨大な三浦半島の航空写真を床面に展示。		1			
326	ふりかえりスクリーン	・来館者の考えたことや学んだこと等を表示させるスクリーン。入力方法、入力場所、展示場所を提案希望。不適切な語句、不適切な表現、差別的表現等は表示されない仕組みが望ましい。		1			
327	自然・人文分野の学習図書、歴史漫画等			複数			
328	ベンチ	・休憩スペースを兼ねる		複数			
329	トピックス展示 可動式展示補助モニター	・20インチ程度のモニター ・左右方向に120cm程度移動可能とするレールとセットで配置		4	120	30	20
330	トピックス展示 壁掛けスライドショーモニター	・スライドショー表示		1	50	90	10